

今、なぜ日本語力が問われるのか

－大学入試と日本語力－



大学入試センター名誉教授で、日本高等教育学会会長の荒井克弘先生に、「今、なぜ日本語力が問われるのか」ということについて、入試との関係も含めてお話を伺いました。

◆入試改革、いわゆる入学者選抜による教育改革が2020年度から実施に移されます。

日本語検定と関連が深い教科「国語」について教えてください。

国語は「短期間では成績が伸びない」という特性があります。共通1次試験の頃に行われた分析でも、連続受験者（浪人生）の成績の伸びを教科別に比較したところ、それぞれの教科で現役時より成績が伸びている一方、国語だけは横ばいでした。

日本人は、「国語」を教科として学ぶ前から、日本語を道具として使っている。日常のあらゆる場面で日本語を耳にし、そのたびに新たな表現を獲得していきます。

そういう機会の少ない教科は、1年間でも熱心に学べばそれだけ成績は伸びるというわけです。国語はすでに磨きに磨いているから、他教科のように成績が伸びない。もちろん、国語教科が多面的な分野、要素をもった測定のおもしろい教科だということもあります。

日本語検定の問題を見ていて「深いな!」と思うことがいくつもあります。TPOは和製英語ですが、Time(時)、Place(場所)、Occasion(場合)に応じて、どんな日本語を使ったら良いのか、それに正面から取り組んでいるという印象があります。

◆「国語」の成績が短期間では伸びないということと、日本語検定の有効性について、もう少し教えてください。

「国語」の力は、その人の持っている「資質」と関連が深い。言語一般にいえることなのでしょうが、さきほど言ったように、日常的な鍛錬によって培われた「日本語」の力は、その人の生来の素質と相関が高いと思います。子どもたちは「国語」を学ぶ前から、「日本語」を操っているわけですから、どんな分野の知識・能力よりも多くの時間、常に学び続けている。高校三年までの18年間に培われた「日本語力」は1年浪人したぐらいではなかなか効果はあがらない。日本語力は生来の資質に依存するし、環境にも大きく左右されるものです。

ですから、日本語検定のような試験で、自分がどの程度のレベルにあるのか、一定の年齢、学校段階に応じてチェックしてみるのには有意義だと思います。決して資質だけではない、工夫、努力の余地もたくさんある。大事ななのは自分の日本語力に気づくチャンスではないでしょうか。

◆「国語」が「日本語力」と深く関わっていることは理解できましたが、他の教科との関係はどうでしょうか。

日本語に限りませんが、母国語で学ぶ以上、どの教科も母国語がその知識や技能を媒介することになります。試験の問いかけ文も本文もふつうはみな日本語です。

たとえば物理の試験問題で「なめらかな平面の上にボールを転がす」というような表現が使われます。ここで「なめらか」とは「摩擦抵抗がない」ということですが、同じ日本語ですが、日常とは違った物理の世界に変換されます。

以前に、カリフォルニア大学のシェイベルソンという教育測定の専門家に話を聞いたことがあります。家庭で交わされる会話の内容と子どもの科学の理解力とは相関が高いと言っていました。使われる語彙の豊富さと物理の概念理解とが関係しているというのです。「慣性」とか「重力」という言葉はふつうはあまり使いませんが、ゆたかな語彙のもとに会話をしている環境にいる子どもたちは、物理の概念理解に長けていたというわけです。数学の文章問題も、まず問題の読解ができなければ解答はおぼつきません。試験問題に接近する半分くらいは読解力に掛かっているかもしれません。数学の問題を数学的世界に変換するには、日本語力が必要です。

つまり、どの教科も日本語で学ぶ以上、日本語が理解を媒介する。各教科の知識をどのように理解し、再現できるかは多分に日本語力に負っています。

◆ところで、センター試験の「国語」は、これまで「評論・小説・古典・漢文」の4分野で構成されていましたが、新しい試験では、新たに「実用文」が加わります。高校2、3年次の国語は「文学国語」と「論理国語」の選択制になり、実質的には文学に代わって「実用文」に学習時間が割かれることになりましたが、「実用文」についてどうお考えですか。

文学国語ができれば、実用国語もできるが、逆は必ずしも成り立たないのではないのでしょうか。一般に文学国語のほうが高次だと思います。文学作品は試験問題のために特定の長さに切り取っても文学世界を失わないことが多いです。実用国語ではどうでしょうか。新聞記事を理解するには一定の前提知識が要ります。「世界の金融の動き」を知らなくても「為替レートの仕組み」「円安とはどういうことか」などは知っていなくては理解がむずかしいでしょう。また、取り扱い説明書のような文章はある種の物品がそこにあることが前提です。実用文は「前提となる知識」や「実物」があってはじめて理解できる、そういう文章が多いと思います。

実用国語をひとつの分野に仕上げるにはかなり時間がかかると思います。審議会で議論されたことと違うむずかしさがあると思います。



◆ 2020 年度より小学 3 年生から英語が必修化されますが、小学校で外国語を学ぶことについて先生のお考えをお聞きかせください。

専門外のことですから、確かなことは言えません。とりあえずは、目標の妥当性に疑問があります。バイリンガルをめざすのなら、ひとつの方法かもしれません。しかし、知識や文化理解が未熟な段階で言葉だけ教えてもあまり意味がないのでは、と思います。外国人の話がわからない理由には少なくとも 2 つの理由があります。ひとつは言葉がわからないため、もうひとつは話の背景になっている事物、社会システムを知らないためです。グローバル化をコミュニケーションの問題と直結する人がいます。でも、外国語が上達しても、相手の話ができるかどうかは別のことです。

世界を見渡すと、1 つの国で起きたことが他国へすばやく伝播する時代です。ですから、各国で起きていることは同じに見えてしまうことがあります。でも、その理解はしばしば違ってきます。たとえば、電話などなかった社会に突然スマートフォンが持ちこまれる、人々がそれを使い出すということが現実に起きている。しかし、そこで起きていることは科学技術の先進国で起きていることと同じでしょうか。世界のあちこちで、これまで世界の歴史が辿ってきたプロセスとは異なる形で変化が進行しています。言葉もだいじですが、変化の文脈を知ることがもっとだいじかもしれません。

母国語以上に外国語が上達するということはふつうないわけですから、まずは母語である日本語で理解し、考え、伝える力を養うことではないかと思います。そのように考えると、歴史的・文化的背景の違いを充分に知ることなく、言葉だけを優先する政策のように感じます。外国語の学習を重点化すれば、その他のことを学ぶ時間はそれだけ減ることになります。それがコミュニケーションにとって最善の方法だとは言えないと思うのです。

◆ 「英語 4 技能 (聞く / 話す / 読む / 書く)」の必要性が言われていますが、先生のお考えをお聞きかせください。

これも専門外ですので、はっきりした考えがあるわけではありません。ただ、推進派よりも慎重派の専門家の主張が納得できることが多いです。例えば、なぜ 4 技能を均等に測らなければならないか、疑問です。外国語で表現されたことをどういうふうに理解するのか、あるいはどういう手続きで自分の考えを伝えたらよいか、いろいろなバリエーションがあります。4 技能は必要です。民間テストを受けて自分のレベルを知ることでも大事です。しかし、そのことと入試で四技能テストをするというのは話が別です。入試でそれをリードするというのは時期尚早と考えます。



◆英語を学ぶ上でも日本語の力が必要だと言うことですね。

余談ですが、日本の翻訳文化について書いた論文を読んだことがあります。翻訳の過程で、日本語の世界になかった概念を発見し、それを言葉に加える工夫の話です。Aの言語世界にあることがBの言語世界にあるとは限らない。外国の文化なり文明なりを自らの国に移植しようというときに翻訳をするわけです。たいへん大きなエネルギーと創造力を必要とする作業ですが、日本は、近代化の過程で積極的に多くの翻訳を進めた。後発国のなかには原語のまま、翻訳せずに外国の知識を学ぶ国も多くありますが、日本は翻訳することで、支配層だけでなく庶民の層でも外国の知識を日本語で咀嚼できる環境が生まれた。日本語が異文化を媒介する道具となったケースです。



◆最後に、先生が日本語検定をご支持くださっている理由を改めてお聞かせください。

私は、日本語検定の問題はおもしろいと思います。さきほど話したことの繰り返しですが、TPOと言葉の関係に焦点をあてた問題が多いところでは。たとえば、上司の歓送迎会にふさわしい挨拶などが、試験問題になって出題されています。そこでは、地位の上下だけでなく、年齢差、歓送迎会の参加者のことにも目配りが必要になってきます。

それぞれの場にふさわしい折り目正しい日本語表現を身につけることは、ものを考えるきっかけになります。基本を知っておけば、踏み外してはいけない一線が分かるし、誤解を招かない表現を選ぶこともできるようになります。

先にも触れましたが、小・中・高校生がそれぞれの発達段階で検定試験を活用し、自分の持っている日本語の力量・技量をチェックすることは、とても意味のあることです。そうした結果を知ることによって、自分の日本語力を自覚し、それを向上させる必要を認識し、努力するきっかけができるからです。